

NPO ひょうご農業クラブグループ紹介

2017年4月

	NPO ひょうご農業クラブ	NPO 法人 青年の村	合同会社 夢農業公園
設立	2001年1月11日	2013年3月25日	2017年7月27日
設立の目的	食を通じた地域福祉活動	過疎地の再生を事業目的化した法人 農業を主軸にした地域再興を図る	過疎再生のモデルケースづくり 有機農業の大企業化
実現方法・対策	有機無農薬野菜の生産・販売(農産物の自作・自販) よりあいクラブ(レストラン・食堂) 高齢者への給食配達・幼稚園の昼食弁当作り	限界集落の活性化 ・耕作放棄田の再耕、野菜作り ・都市生活者のボランティア参加による活性化 化集団作り	原野化した耕作放棄田の再耕・農園化 5haの畑、大規模無農薬栽培 大型機械の導入、農作業の外部委託化
場所・規模・事業内容・職員	相生市 畑 90a 有機野菜栽培 店 2店 自作の野菜と近隣農家の農産物販売 職員 2人 アルバイト 7人	宍粟市 畑 2.3ha 有機野菜の栽培 神戸市 店 1店 六甲アイランド 職員 正 1人 アルバイト 6人	加西市 畑 5ha ・原野化した畑の再耕、農園化 ・収穫野菜の直売 ・食品加工、販売店、市民農園など 10次産業化 職員 正 2人 アルバイト 5人
将来構想	グループの中核機能を担う 農業と農村の未来像を創造する 1. 農業の企業化 2. 農業の趣味化 国民皆農業化 3. 中山間地の農業(林)公園化 4. 世界の農業をリードする日本農業	過疎再生の開拓実施部隊 農業公園化の拡張 1. 趣味、教養、スポーツの公園にする 2. 世界の観光公園	有機農業の大型企業化を進める 有機農場(園)の拡大 農業の企業化と趣味化の2極を追求

コメント

1999年から18年間、農業の営みを通して、日本の社会を見てきた。日本全体は安定した状況が続いているが、農村、特に中山間地は低迷、後退してきている。高齢化と人口減、若者の激減、日本の農業・食糧生産の不安定化、農村の人口構成のアンバランス化がさまざまな社会問題を起こしている。農業と農村をどう変革していくのか、今 もっとも大事な日本の課題である。

過疎地再生を事業目的化したNPO法人として、あらんかぎりの努力をしている。